

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回戸田市総合介護福祉市民協議会
開催日時	令和6年6月28日(金) 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室B
委員長等氏名	鄭会長、早船副会長
出席者氏名 (委員)	鄭会長、早船副会長、安彦委員、福田委員、早船委員、西内委員、山田委員、 小川委員、日名田委員、櫻井委員
欠席者氏名 (委員)	
事務局	山下次長、長友課長、大原主幹、黒木副主幹、小久保副主幹、深田副主幹、 山道主任
議 題	(1) 地域密着型サービス事業所の指定更新について (2) 戸田市地域包括ケア計画基本目標1「地域における高齢者の支援体制 づくりに係る進捗状況について(令和5年度取組報告・令和6年度取 組計画) (3) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業者の公募について (4) その他
会議結果	(1) 2つの事業所の指定更新が承認された。 (2) 地域包括ケアシステムの深化・推進に係る令和5年度の取組状況及び 令和6年度の方針について承認された。 (3) 事業者公募の実施及びスケジュール等について承認された。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
議事録確定	令和6年7月12日 委員長等氏名 鄭 春姫

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 協議会の開会（傍聴人なし）</p> <p>2 委員自己紹介及び事務局紹介</p> <p>3 会長・副会長の選出 鄭委員を会長に、早船（直）委員を副会長に選任した。</p> <p>4 会長挨拶</p> <p>5 戸田市総合介護福祉市民協議会について ○資料1に基づいて説明。</p> <p>6 協議事項 (1) 地域密着型サービス事業所の指定更新について ① グループホームみんなの家・戸田 (認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）) ② スマイルデイサービス・楽 (地域密着型通所介護)</p> <p>資料2に基づき、事務局、及び上記2事業者から説明</p> <p>～事業者①が入室し、説明開始～</p>
委員	面会の制限はあるか。
事業者①	現在は制限していない。
委員	現在空室はあるか。ある場合はどのように募集を行っているか。
事業者①	若干の空室があり、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に声掛けをしている。
委員	施設から在宅復帰した利用者はいたか。
事業者①	これまでに例はない。
委員	スタッフは充足しているか。

事業者①	さらに配置したい希望はあるが、離職者が少なく、同じスタッフによるケアが継続できている。
委員	生活保護受給者は利用しているか。
事業者①	昨年度は1名いたが、現在はいない。
委員	生活保護受給者の利用枠はあるか。
事業者①	経営面を考慮し、1、2名としている。
委員	職員の資格保有状況は。
事業者①	一部初任者研修修了者や無資格者がいるが、大半の職員が介護福祉士又は介護支援専門員の資格者である。
委員	警備会社の関連会社が運営しているが、警備会社はどのように関与しているか。
事業者①	週1回エリア担当が巡回している。
委員	健康体操は会社として実施しているものか。
事業者①	職員のオリジナル体操や町会婦人部の盆踊り練習会なども織り交ぜて実施している。
委員	コロナ禍後、地域との交流は増加しているか。
事業者①	増加している。
委員	身元引受人がいることを入居条件にしているが、いない場合はどのように対応しているか。
事業者①	地域の保証会社・保証サービスを紹介している。

	<p>～事業者①退室～</p> <p>～事業者②入室、説明開始～</p>
委員	個人的に当該事業所とは関りがあつた。個人的な感想になるが、様々な取組みがあり、かつ、職員のチームワークもいい事業所であると感じている。
委員	園児との交流のきっかけは。
事業者②	保育園が新設された際に、敬老の取組として提案があつた。現在も散歩の際に立ち寄っていただくことがある。
委員	中学生社会体験チャレンジ事業とは何か。海外では小学生も実施しているが。
事業者②	生徒の希望に応じて職場体験をしてもらうものである。子どもとの交流は利用者の笑みが生まれ、その後も立ち寄ってくれたりと継続的な交流が生まれている。当事業所には中学生の受け入れ依頼のみである。
委員	施設関係者以外の立入りについて、感染症への配慮はしているか。
事業者②	対象者に応じて、大腸菌の検査や手洗いの励行等を取り決めて実施している
委員	認知症の方は、会話が少なくなることで進行が早まると思われる。言葉が出なくても目が語ることもあるため、意識していただきたい。
事業者②	ゲームの手伝いの際に話し掛けるなど、可能な限り配慮している。
委員	看護師の配置は不要か。
事業者②	基準上は不要である。
委員	市外の利用者はいるか。

事業者②	資料上は延べ人数で記載したため3名となっているが、実質的には1名である。
	～事業者②退室～
会長	多くの質疑を行っていただき、各事業所の状況については認識していただいたものと思われる。 両事業所の指定更新について異議はあるか。
事務局	異議なし。
会長	それでは、当協議会として、2事業者の指定の更新を承認することとする。 (2) 戸田市地域包括ケア計画基本目標1「地域における高齢者の支援体制づくりに係る進捗状況について(令和5年度取組報告・令和6年度取組計画)
	資料3・4に基づき、以下を踏まえて事務局より説明。 ・資料4の2ページ、「3 認知症施策の推進」の令和6年度の具体的事業と目標値について、認知症サポーター養成講座事業は6月に市職員向けに実施し、51名の職員の受講があった。また、認知症に関する正しい知識と認知症の人に関する正しい理解の普及・促進のための事業(映画上映会)については、6月に実施し155名の鑑賞者があった。
委員	地域包括支援センターの職員不足を感じるが、運営側としてはどのように感じているか。
委員	委託料を増額していただいたが、専門職の確保が難しい状況である。
委員	地域包括支援センターは、高齢者の駆け込み寺としての周知を強化していただきたい。
事務局	令和6年2月号の広報で特集記事を掲載した。今後も周知を強化したい。

	<p>(3) 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業者の公募について</p> <p>資料5に基づいて、事務局より説明。</p>
委員	<p>訪問介護事業所においても職員が不足しており、事業所が手を挙げるか不安を感じる。</p>
事務局	<p>実施の意思が示されている事業所はないが、市の整備方針については問い合わせがある。</p> <p>公募に応じやすい手法については、今後検討していきたい。</p>
委員	<p>夜間対応は今後必須になると思われる。市として人材や事業者を呼び込む取組みはないか。</p>
事務局	<p>介護人材の不足は全国的な課題である。多方面の意見を聴取して検討したい。</p>
委員	<p>新規事業所の参入はハードルが高く、既存の事業所が参入できる仕組みを作れば整備も進むものと思われる。</p>
会長	<p>事業所の参入について困難は多いと思うが、現時点で市が検討している公募の方針及びスケジュールについて、当協議会として承認することとしてよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
	<p>(4) その他</p> <p>特になし。</p>
事務局	<p>7 閉会</p> <p>次回の会議は、令和7年1月29日(水)午後1時30分からの開催を予定している。</p>
	<p>以上</p>